

令和5年4月12日

摂津市議会議長 様

会派名 大阪維新の会  
 経理責任者 香川 良平

政務活動費収支報告書

令和4年度政務活動費の収支について、下記のとおり報告します。

記

1 収入 政務活動費 1,440,000 円

2 支出



(単位：円)

項目	金額	備考
調査研究費	94,040	那珂川市・福岡市への会派視察費
研修費		
広報費	249,815	市政報告Vo. 3作成・配布分
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
人件費		
事務所費		
合計	343,855	

3 残額 1,096,145 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

様式第 8 号

支払伝票 会派名 <u>大阪維新の会</u>		支出決定	代表者印		経理責任者印	
						
項目	広報費		支払伝票番号		1	
実施年月日	令和4年5月12日					
金額	百	十	万	千	百	十 円
		1	9	2	9	4 0
内容	市政報告第 3 号 作成費(192,500円)・振込手数料(440円)					
支出先	エイチワイコミュニケーションツールズ <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>					
支払年月日	令和 4 年 5 月 1 2 日			出納簿記入者	香川良平	
摘要	新聞折込用 16,550 枚 直接配布用 950 枚 合計 17,500 枚					

(注) 裏面に領収書等支出したことの証拠となる書類を貼ること。

2022年 5月 12日

請求番号: 20220517-001

## 領収証

大阪維新の会 様

件名: 市政報告vol3

  
 HY  
 communication tools

金額 ￥192,500 -

上記金額正に受領いたしました。



エイチワイコミュニケーションツールズ

代表

〒535-0002 大阪市旭区大宮5丁目6番23号  
TEL:06-7165-6656 FAX:06-7171-2381

品番・品名	数量	単価	金額
市政報告vol3 B4 コート<90> 4/4CMYK	17,500部	10	175,000
小計			175,000
消費税 (10%)			17,500
合計			192,500

様式第8号

支払伝票

会派名 大阪維新の会

支出決定	代表者印	経理責任者印
		

項目	広報費	支払伝票番号	2
実施年月日	令和4年5月12日		
金額	百	十	万
			千
			百
			十
			円
金額		5	6
			8
			7
			5
内容	市政報告第3号 新聞折込代(56,435円)・振込手数料(440円)		
支出先	株式会社 読直		
支払年月日	令和 4年 5月 12日	出納簿記入者	香川良平
摘要	新聞折込 16,550 枚 (5月21日(土)折込み分)		

(注) 裏面に領収書等支出したことの証拠となる書類を貼ること。

No. C83104

領 収 書

2022年 5 月 12 日

大阪維新の会 殿

			¥	5	6	4	3	5
--	--	--	---	---	---	---	---	---

金額の訂正は無効

但し 5/21折 B4 16,550枚 (消費税¥ 5,130 含む)

上記金額領収致しました





株式会社

讀 眞

大阪市北区野崎町5番9号 読眞株式会社 社内

担当印

様式第8号

支払伝票 会派名 <u>大阪維新の会</u>		支出決定	代表者印 		経理責任者印 	
項目	調査研究費		支払伝票番号		3	
実施年月日	2022/11/14~2022/11/15					
金額	百	十	万	千	百	十 円
			9	1	6	4 0
内容	那珂川市・福岡市への会派視察費(91,200円)・振込手数料(440円)					
支出先	株式会社 阪急交通社					
支払年月日	令和 4年	10月	21日	出納簿記入者	香川良平	
摘要	(This area is currently blank)					

(注) 裏面に領収書等支出したことの証拠となる書類を貼ること。

お問合せNo. : 0055233828

ReceiptNo. : 5045 - 0044089

発行日 : 2022年10月25日

領 収 書

R E C E I P T

宛名 大阪維新の会 様

金額 ¥91,200-

【入金】 10/21 振込 ¥91,200

※上記の金額正に領収いたしました。

但し ご旅行代金として  
コース名：【全】新幹線のぞみで行く！70施設より好きなホテルが選べる  
！小倉・

株式会社 阪急交通社  
HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL

※本領収書は電子文書となりますので印紙課税の対象になりません。

※記載事項の変更または再発行をご希望の場合は、旅行取扱営業所までお問い合わせください。

また、この場合は印刷済みの領収書を旅行取扱営業所までご返送いただけます。

支出決定日： 令和4年10月21日

# 旅 費 明 細 書

氏 名 ( 4人)	塚本 崇		
	三好 俊範		
	香川 良平		
	出口 こうじ		
出張先	福岡県那珂川市、福岡県福岡市		
期 間	令和4年11月14日 から 令和4年11月15日 まで	( 1泊 2日)	
用 件	【視察】新幹線基地周辺のまちづくりおよび夜間ごみ収集、DX推進について		
旅 費 額	交通費	円	
	(運賃	円)	
	(特急料金	円)	
	宿泊料	円	
	合 計	91,200 円	22,800円/人 (交通費+宿泊費のみ、食事代なし) × 4人分
備 考			



様式第8号

支払伝票

会派名 大阪維新の会

支出決定	代表者印	経理責任者印
		

項目	調査研究費		支払伝票番号		4	
実施年月日	令和4年11月14日					
金額	百	十	万	千	百	円
				2	4	00
内容	那珂川市役所最寄り駅までの新幹線代往復分					
支出先	西日本旅客鉄道株式会社					
支払年月日	令和 4年	11月	14日	出納簿記入者	香川良平	
摘要	博多駅～博多南駅 300円×4名分 博多南駅～博多駅 300円×4名分					

(注) 裏面に領収書等支出したことの証拠となる書類を貼ること。

領収書		大坂維新の会様	
領収年月日	2022.11.14	金額	¥1,200 (消費税等込み)
上記金額確かに領収いたしました			
購入商品	JR乗車券類	JR tickets	印紙税申告納付につき大淀税務署承認済
(202128枚)		西日本旅客鉄道株式会社	
博多南駅		博多南駅F1発行	30213-02

領収書		大坂維新の会様	
領収年月日	2022.11.14	金額	¥1,200 (消費税等込み)
上記金額確かに領収いたしました			
購入商品	JR乗車券類	JR tickets	印紙税申告納付につき大淀税務署承認済
( 枚)		西日本旅客鉄道株式会社	
博多南駅		博多南駅F1発行	20065-02

様式第2号

令和4年12月28日

摂津市議会議長 様

会派名 大阪維新の会

議員名 塚本 崇

出張報告書

下記のとおり出張しましたので報告します。

記

項目	視察 研修 会議 要請・陳情 その他 ( )
期間	令和4年11月14日 ~ 11月15日まで 2日間
概要	別紙のとおり
備考	会派による視察の報告(4人分)

※参考となる書類を添付してください。

## 復命書

提出日：令和4年11月16日

提出者：塚本崇

概要：新幹線基地周辺のまちづくりおよび夜間ごみ収集、DX推進について

視察日：令和4年11月14日および11月15日の2日間

参加者数：議員4名（塚本崇、三好俊範、香川良平、出口こうじ）

視察内容：

1. 福岡県那珂川市における新幹線基地を利用したまちづくりについて
2. 福岡県福岡市における夜間ごみ収集について
3. 福岡県福岡市におけるDX推進について

所感：

1. 福岡県那珂川市における新幹線基地を利用したまちづくりについて

摂津市と同様に新幹線基地がある那珂川市において、なぜ日本で唯一の駅舎利用ができるようになったかを問うた。

昭和59年（1988年）に当時（この時はまだ那珂川町であった）の町長が回送列車を利用した駅舎設置の要望を表明してから、実際に博多南駅が供用開始される平成2年（1990年）まで6年という短い期間で実現できたことは、町長の強烈なリーダーシップおよび隣接する福岡市、春日市を巻き込んだ首

長と議会の広域連携によるものと推測される。昭和 60 年（1985 年）には議会にて「博多総合車両基地から博多駅間に回送される新幹線列車に町民の有料乗車の実現を求める決議」を採択し、昭和 63 年（1988 年）には福岡市、春日市、那珂川町の二市一町で「新幹線回送列車有料乗車実現期成会」が設立されたことから、それはうかがえる。

結果、新幹線基地ができた頃の昭和 50 年（1975 年）に 17,646 人であった人口が 45 年後の令和 2 年（2020 年）には 50,112 人と約 3 倍に膨れ上がり、駅舎の利用者数も開業当時の平成 2 年（1990 年）には 1 日当たり 3,718 人であったものがコロナ以前のピークであった令和元年には 16,123 人と、ほぼ JR 千里丘と同じ人数が利用するまでになっている。

少子高齢化により、人口減少が予想される鳥飼地域においては、回送列車を利用した駅舎建設はまちづくりの起爆剤となりえるポテンシャルを持っており、本年 10 月 25 日には新大阪駅周辺の容積緩和による再開発の方針が閣議決定されたことから、大阪市と連携し、新大阪へのアクセスを良好にすることは、今が機運であると考えられる。

## 2. 福岡県福岡市における夜間ごみ収集について

次に福岡市にて、夜間のごみ収集が行われていることから、その現場を視察した。午前 0 時までにゴミを出し、朝までに収集するルールとなっていることから、午前 0 時 10 分に市役所職員および委託業者と合流、ゴミ収集の様子を見学、翌日午前中には担当課からヒアリングさせていただいた。

ゴミ収集は重作業かつ危険を伴う作業であるが、福岡市では 100%委託で実施しているという歴史がある。

夜間収集の歴史は古く、明治時代には馬車などを利用した「早朝収集」が基本であったようだが、昭和 30 年代にモータリゼーションによる交通渋滞が深刻化したことから、夜間収集へ移行したとのこと。

閑静な住宅街でのパッカー車は騒音の原因ともなり得るが、こうした歴史があるため福岡市では通常のこととして受け止められているという背景がある。

パッカー車の方でも工夫をしており、投入口の横に運転席に通じたマイクやバックカメラがあり、運転誘導のために大声を出さずとも誘導が可能なのになっている。

福岡市はごみ収集に関して他市に先んじて取り組んでおり、昭和 37 年(1962 年)には可燃ごみと不燃ごみの分別回収を 24,000 世帯に対してモデ

ル実施し、昭和 41 年（1966 年）には市域全体で分別収集を開始した。（参考として同じ政令指定都市の大阪市で分別回収が始まったのは平成 3 年（1991 年））

指定ゴミ袋によるゴミ収集の有料化も平成 17 年（2005 年）と導入が早く、リッター当たり 1 円と、同じく指定ゴミ袋を導入している箕面市のリッター当たり 2.09 円と比べても比較的安価で導入している。

指定ゴミ袋に入っていないゴミは収集しないことを徹底しており、市民感情としてもゴミを出すのは有料であるという意識を持たせることに成功しており、ゴミの減量化にも効果を発揮している。

市民の指定ゴミ袋による収入は 34.1 億円とコスト 80 億円に対して約 4 割を回収している。本市もゼロカーボンシティ宣言をしていることから、ゴミの減量化は必須であり、かつ、茨木市との広域連携によってごみ処理を委託することから、もはやゴミを出すことは無償サービスではないということを意識として市民に持っていただく必要がある。

福岡市の特筆すべきごみ収集にかんするサービスとしては、メールによる通知サービスがある。これは登録することによって、ゴミを出す日に分類ごとの通知が届くというサービスであり、月一回収のゴミなどの出し忘れをなくす効果がある。令和 4 年にはこの通知サービスに 34,000 件以上の登録があり、

市民サービス向上に役立っている。また、福岡市の公式 LINE ではゴミの分類に関してチャットボットで返答する機能があり、ゴミ分類に対する意識を高めている。(公式 LINE に関しては次項でも触れることとする。)

また家電リサイクル法に係る製品や、資源ごみに関しては市内の民間事業者と協定を結んでおり、一貫して委託によるゴミ回収に徹している。

これらを本市に転じた場合、夜間のゴミ収集は慢性的な交通渋滞の緩和に役立ち、また見回りの機能も持つことから防犯にも寄与すると考える。また、ごみの有料化は困窮世帯への給付とワンセットで行うことが必須である。

### 3. 福岡県福岡市における DX 推進について

2 日目午後は DX 推進課にヒアリングを行った。

令和 3 年度の実績として 15 の行政手続きをオンライン化しており、「ワンストップ」ではなく「ノンストップ」行政として、市民が来庁することなく、オンラインで手続き完了するようなサービスを目指している。

市民サービスを充実させるという立場から外部の専門人材「DX デザイナー」を委嘱しており、各部署がホームページなどをアップデートする際には原則この DX デザイナーが参加しているデザイン会議に諮るように規則を作っている。これらデザイナーの進言によって、古いデザインの情報発信は一新され、



先ほどの項でも触れた公式 LINE は福岡市の人口、162 万人を超えた 182 万人の登録者数を誇っている。摂津市でも公式 LINE があり、人口 8 万 7000 人に対して 3 万人以上の登録がされているが、人口以上の登録があるということとはそれだけコンテンツが充実していることをうかがわせる。

その一つとしてオープンデータがあり、オープンデータサイトでは約 420 種類のデータを公開しており、「誰もが使いやすく、分かりやすいユーザーインターフェース」の実現を目指している。実際に福岡市の公式サイトや LINE は直感的に欲しい情報に辿り着けるような仕組みとなっており、本市には大いに見習っていただきたい部分が多くある。

デジタルディバイドといわれる世代に対しては窓口や公民館で大型の画面で分かりやすいインターフェースを作りこんでおり、高齢者への配慮もしっかりと対応していることをうかがわせる。

将来的に目指しているイメージとして多くの自治体がそうであるように、行政は申請主義であり、市民が窓口に行くことで初めてサービスが始まるが、福岡市の目指すイメージはプッシュ型のサービスであり、欲しい情報が行政から届く仕組みを目指している所が旧来の行政と一線を画す部分であり、人口減少時代にも生き残る体制をしっかりと整えていると感じた。

少なくとも公式 LINE の充実化、チャットボットの導入、オープンデータの

導入は本市でも取り入れていただきたい部分であり、最終的には福岡市と同じく、プッシュ型のサービスを郵送に頼ることなくオンラインで届く仕組みを整えるイメージを今から固めておくことを提言したい。

現金出納簿

支払伝票 番号	年月日	摘 要		収入金額	支払金額	差引金額	備 考
		項 目	内 容				
	4月14日	政務活動費	第1四半期分	360,000		360,000	
1	5月12日	広報費	広報紙発行費		192,500	167,500	
1	5月12日	広報費	振込手数料		440	167,060	
2	5月12日	広報費	広報紙新聞折込		56,435	110,625	
2	5月12日	広報費	振込手数料		440	110,185	
	7月14日	政務活動費	第2四半期分	360,000		470,185	
	10月13日	政務活動費	第3四半期分	360,000		830,185	
3	10月21日	調査研究費	会派視察費		91,200	738,985	
3	10月21日	調査研究費	振込手数料		440	738,545	
	1月12日	政務活動費	第4四半期分	360,000		1,098,545	
4	4月4日	調査研究費	会派視察費		2400	1,096,145	
合 計				1,440,000	343,855	1,096,145	